

福祉と医療の学習会

テーマ：医療機関の情報冊子作り（第4回）

2006年5月20日（土）13：30～16：00

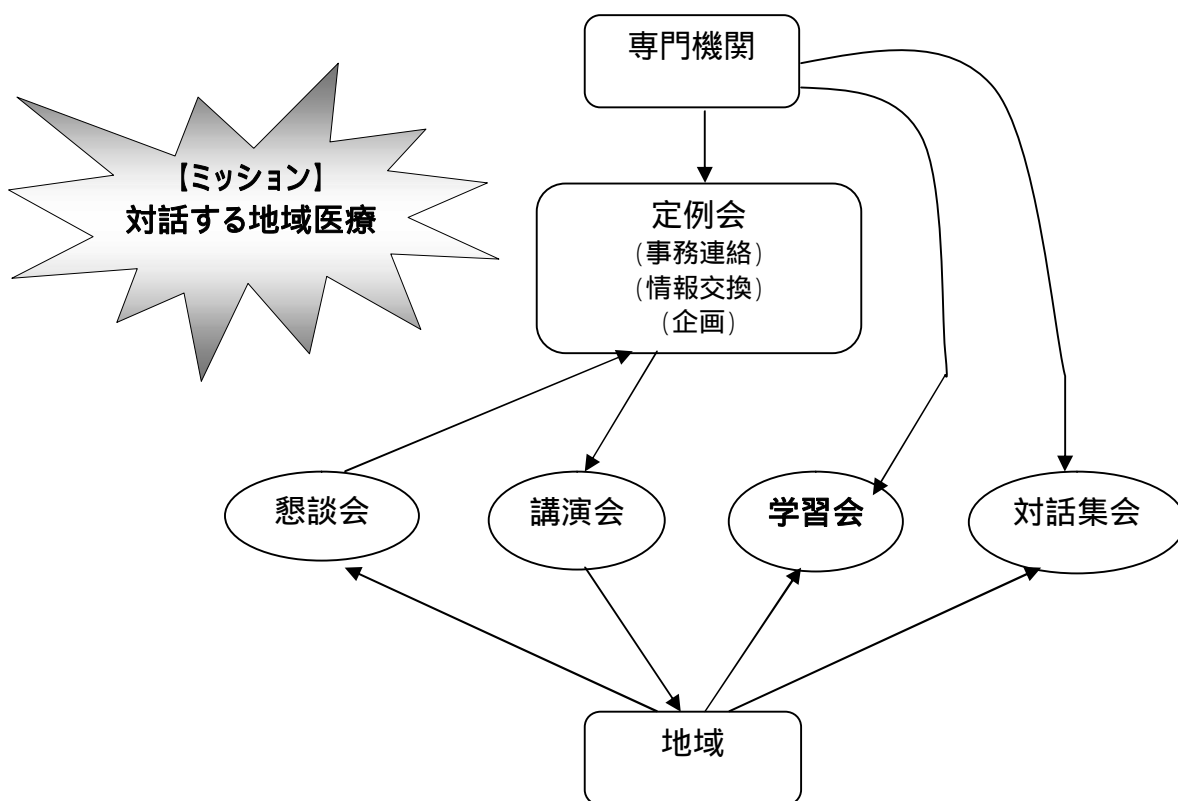
千葉県立東金病院 大会議室

参加者 男性8名 女性2名 計10名

資料

おさらい

1. 「NPO地域医療を育てる会」の組織



- 【目標】
- ・ 情報発信をし、住民の意識の高揚。
 - ・ 希望を持てるような医療の改善イメージを住民に示す。
 - ・ 医療は行政の仕事だと思っていた住民が、「主役」で関わるパワーをつける。

2. 学習会

目標：現時点での医療機関に関する情報冊子を作る

将来的にはこういう地域にしたいと言うランドデザインを作る。

情報冊子とランドデザインは、シンポジウム(冬開催の講演会)で発表する。

具体的な活動と、それぞれの目標

情報冊子作り：誰もが安心して暮らせるための医療機関のあり方を盛り込む

講演会(6月25日)：医療機関と障害者のコミュニケーションについて、市川市での医師会と手をつなぐ親の会の取り組みを学び、山武地域ではどのように取り組むべきかを話し合う。

懇談会(5月17日)：障害を抱える当事者とその家族が感じている日ごろ医療にかかる際に生じる困難さと医療に対する期待を、地域住民が理解する。ここで得られた情報を、情報冊子作り、講演会にそれぞれ活かす。

3. 学習会の流れ

2～4月まで 地域で安心して暮らせるための医療や福祉に関する課題を出し合い、私たちがすぐに取り組めることは何かを検討しました。その中で、福祉サービスに関する情報はかなり出回っているが、医療機関の情報が少ないことが上げられ、医療機関の情報冊子を作ることにしました。すでに医師会や、民間企業で発行している冊子を元に、私たちが必要としている情報紙とは何かを検討し、以下の項目を盛り込んだ冊子を作ろうと決めました。

(全体) 地図・バス停

診療科目ごとの目次・一覧

コラム(こんな医療機関があったらいいな、地域の医療に望むことなど)

(各医療機関の情報)

所在地

診療科目(専門科目 例：神経内科 など)

電話番号、FAX

診療時間、休診日

往診

移送(送迎)サービス

近くのバス停・飲食店(徒歩何分か)

子ども用スペースの有無

セールスポイント

障害者の対応

車椅子 可・否

身体障害者の受診 可・否

知的障害者の受診 可・否
障害者受診サポート手帳の対応
手話通訳者がいるか

検討内容

情報冊子の情報の扱い方

- ・ 紙に印刷した情報は更新が難しいので、ホームページにも情報をアップして、いつでも更新できるようにすることも必要。ドクターも、情報更新をいつでも育てる会に送ることが出来る。この点について、ドクターの了承を得るべき。

ドクターや医師会への働きかけ方

- ・ お医者さんが伝えたいことと、患者さんが知りたいことを載せた冊子を作りたい
- ・ 私たちがドクターのPRのお手伝いをしたい
- ・ 5年前の情報(「あなたの街の医療情報」)のアップデートをします。
- ・ 先生方のコメントはそのまま載せます
- ・ 情報の更新はホームページとクローバーでフォローします。

地域医療・福祉について

- ・ 行政のサービスは予算をかけるが、具体的な効果が出て来ないことが多い。
住民の必要にこたえられるサービスのメニューを、住民が作って、行政に提案する形が必要
- ・ 24時間365日、とにかく医療機関にかかることが出来る地域へ。
そのために、 医療機関の休日を分散させる
各医療機関が交代で夜間の診療日を必ず設ける
- ・ 医療機関同士の紹介をスムーズにするためのネットワーク作りが必要

今後の予定

情報冊子作り：5月・・・アンケートの依頼文書作り、アンケート依頼と回収の方法について検討する

6月・・・宛名書き

7月・・・印刷原稿の検討(医療機関情報とコラム)

8月・・・印刷と製本 冬の講演会で発表